

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせます。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放を勝ち取ります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです。あなたも一緒に

今週の紙面

- 2面 次世代国会行動／女性ニュース／国会スポット
- 3面 読者のページ／まんが／パズル
- 4・5面 国会前女性団体大集会／介護保険の抜本改善を／ホットライン
- 6面 紫外線対策／文化情報
- 7面 次世代交流／主張／母の歴史



東京・葛飾区 土井響子

4・23次世代国会行動 女性たちが動かした

選択的夫婦別姓 法案、審議へ



新婦人の次世代交流会で

4月23日、選択的夫婦別姓を求める新婦人の次世代国会行動、夕方の女性たちの共同行動が国会を揺るがし、法案審議へと動かしています。(関連2・4・7面)

自分の人生を語って

昨年10月の総選挙の結果、衆参両院で同制度賛成を公約した議員が多数になることで、立憲民主党が国会に法案提出へ、後半国会の重大テーマとなっています。

選択的夫婦別姓を「この国会で必ず実現へ」と新婦人の次世代国会行動には、34都道府県から150人が参加。午前中は地元選出議員への要請、昼は院内集会(2面)、午後は活動交流会(7面)、夕方の議員会館前集会(4面)と一日中行動を繰り広げました。

交流会では、「名前は人権」との気づきや自らの人生が次々語られました。「結婚後、職場で突然これまでに違う名字で呼ばれたことにモヤモヤしながらも普通に暮らしてきた。でも『別姓が選べた』と運動してきて、当選前」と運動している新婦人の方たちの声を聞き、すごい生きづらかったんだと気づいた。「ずっと旧姓だったのに、職場でややこしいと言われ、結局ダブルネームに。電話がかかってくるとどっちの名前で出たらいいか混乱する。通称使用は絶対限界がある。今のモヤモヤをこんなに



署名を議員に渡す米山新婦人会長(右から2番目)

議員会館前集会

<4面へ>



4月23日、議員会館前で「選択的夫婦別姓実現しよう」と開かれた女性団体大集会でスピーチする広島や北海道の会員たち。右端は田中優子さん

持りで要請にきた」と話しました。街頭やSNSで43人の声を集めて参加した会員は言いました。「通称使用でいい」と言ってる議員にはアンケートの声を呼びかけた選択的夫婦別姓の実現を求める集会がおこなわれ、代表の田中優子さん(法政大学名誉教授)が、主催者あいさつ。弁護士、作家、医師など、さまざまな立場からマイクを握って、参加した次世代会員もスピーチしました。

議員会館前で声あげる

夕方からは議員会館前で、「平和を求め軍拡を許さない女たちの会」が呼びかけた選択的夫婦別姓の実現を求める集会がおこなわれ、代表の田中優子さん(法政大学名誉教授)が、主催者あいさつ。弁護士、作家、医師など、さまざまな立場からマイクを握って、参加した次世代会員もスピーチしました。

5月10日号は休刊です

